

平成27年度

# 研究紀要

第29号

川崎市総合教育センター

## はじめに

社会が激しく変化するこの時代において将来を見据えると、少子高齢・人口減少社会、グローバル化・情報化の進展、不安定な雇用状況、社会の活力の低下への対応など、多くの課題が存在します。

川崎市総合教育センターの役割は、各学校の教育活動のさらなる充実に向けた支援や、教職員の資質・授業力の向上、教育の情報化、特別支援教育や教育相談の相談体制の確立などであることから、子どもたちを取り巻く社会的な背景や今日的な課題を踏まえながら、毎年、調査研究を行っております。

今年度の研究総括主題を、『川崎の未来を創造する子どもの育成』、実践研究主題を『社会を生き抜く資質・能力を育てる指導の在り方』として、「実践研究」「調査・基礎研究」「各研究所との共同研究」「施策研究」を進めてまいりました。今年度の研究は、社会科、体育・保健体育科、学校教育相談の3名の長期研究員と、特別研究員1名、中学校のカウンセラー研究員1名、指導主事と研究員による研究会議を設置いたしました。

ここに、平成27年度に終結した各研究会議の研究内容を、研究紀要29号としてまとめることができました。この研究紀要が、これからの皆様の授業のさらなる充実や改善に少しでも役立つことができれば幸いです。また本研究に関して、ぜひ、忌憚のないご意見ならびにご指導をいただければ、なお幸いに存じます。

最後になりましたが、それぞれの研究に対しまして、ご指導ご助言いただきました川崎市総合教育センター専門員の方々をはじめ、お力添えいただきました全ての方々に厚く御礼申し上げます。

2016年3月

川崎市総合教育センター  
所長 芹澤 成司

## 目 次

川崎市総合教育センターの研究の推進	P1
情報・視聴覚センター指導主事・カリキュラムセンター指導主事研究 「情報活用能力育成の在り方について～カリキュラムの作成に向けて～」	P6
教育相談センター指導主事研究 「不登校等の問題行動の未然防止と初期対応のあり方―課題を見出し、解決策を探る―」	P14
社会科教育研究会議 「「知って、わかって、社会に生かせる」社会科学習の在り方 ―問題・課題解決と意思決定を促す学習過程を通して―」	P18
体育・保健体育科研究会議 「「考えて動く」が「できる喜び」につながる指導の工夫 ―ベースボール型における「考えて打つ」ことに着目して―」	P38
学校教育相談研究会議 「かかわり・つながりの中で安心して学べる学級を目指して ―子どもを見る視点や、子ども同士のかかわりを育む教師の支援を探る―」	P58
特別研究員による研究 「自己を見つめる力を伸ばすキャリア教育と自立活動 ―各教科等に自立活動の6区分と合理的配慮を意識して取り組む学校経営の視点から―」	P78
カウンセラー研究員による研究 「生徒との日常の関わりを大切にした生徒指導 ―問題行動の拡大を防ぎ、心が通い合う学校にしていくために―」	P98
算数・数学科教育研究会議 「習熟の程度の応じたきめ細やかな指導について」	P106
総合的な学習の時間研究会議 「子どもが主体的に探究する授業づくり」	P112

#### 道徳教育研究会議

「道徳の授業の指導方法の工夫」 P120

#### 健康教育研究会議

「自分の体に関心を持ち、具体的な課題解決ができる資質・能力を育てる保健指導  
ー情報機器の使用と睡眠の関わりからー」 P128

#### 高校教育研究会議

「考え方・感じ方を深める授業づくり  
ー小グループでの話し合いにおける生徒の活動に着目してー」 P136

#### 情報教育研究会議

「情報の視覚化を通して思考を深める授業づくり」 P142

#### 情報モラル教育研究会議

「日常モラル」と「仕組の理解」に視点をあてた情報モラル教育  
ー児童生徒の判断力育成の手立てを通してー」 P148

#### 特別支援教育研究会議

「宿題に困難を抱える児童生徒への配慮・支援について  
ー学びの多様性を踏まえ、授業と家庭のつながりを重視した宿題の可能性ー」 P154

#### カリキュラムセンター指導主事研究

「自分の意思が社会を創るー主権者教育の手引きー」 P170